



VECTORWORKS®

A NEMETSCHEK COMPANY

必ずお読みください

セットアップマニュアル ネットワーク版

JAPANESE VERSION

20
25
v

目 次

Vectorworks ネットワーク版の概要	4
Vectorworks ネットワーク版の仕組みについて	4
ライセンス管理ソフトウェアのプロテクトについて	4
ライセンス管理ソフトウェアの機能	5
パッケージの内包物	5
セットアップから起動までの流れ	6
セットアップの前に	7
ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ	10
必要条件	10
ライセンス管理ソフトウェアのインストール	13
ライセンス管理ソフトウェアの起動確認	22
Vectorworks クライアントのセットアップ	28
Vectorworks 2025 のインストール	28
Vectorworks 2025 の起動	31
アンインストールについて	35
Vectorworks ソフトウェアとその他のファイル	35
ライセンス管理ソフトウェア	35
補足情報	37
Vectorworks フォルダのアクセス権について	37
ソフトウェアの FireWall 解除設定について (Windows)	38
Windows 環境の複数アカウントでのクライアント運用について	39
ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点	40
ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作	42
簡易操作インターフェイスの表示について	43
簡易操作インターフェイスの基本操作について	43
クライアントが使用するモジュールの管理	46

FAQ	50
-----	----

付録	54
----	----

ドングルタイプのプロテクトについて	54
ドングル（ハードウェアプロテクトキー）お取り扱い上のご注意	57
セットアップ状況確認のヒント	58
技術情報関連	59

- ☐ Vectorworks、Renderworks、Braceworks と ConnectCAD は Vectorworks,Inc. の登録商標です。
- ☐ SmartCursor と VectorScript は Vectorworks,Inc. の商標です。
- ☐ Vision は Vectorworks,Inc. の製品です。
- ☐ すべての権利は Vectorworks, Inc. が保有しています。
- ☐ Reprise License Manager (RLM) は Reprise Software, Inc. の商標です。
- ☐ Apple, Mac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ☐ Microsoft, Windows またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、
- ☐ 米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ☐ Adobe, Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- ☐ その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。
- ☐ 本書に記載されている一部または全部を無断で転載する事は禁止されています。
- ☐ 本ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告無しに変更される場合があります。

1. Vectorworks ネットワーク版の概要

1-1. Vectorworks ネットワーク版の仕組みについて

Vectorworks® ネットワーク版をご購入いただき、誠にありがとうございます。

Vectorworks ネットワーク版は、サーバー／クライアント形式でライセンスを管理し、Vectorworks ソフトウェア（以下 Vectorworks クライアント）を使用することができます。スタンドアロン版では各コンピューターごとに Vectorworks のライセンスを用意する必要がありますが、ネットワーク版ではサーバー用コンピューター上の Vectorworks Site Protection Server（以下、ライセンス管理ソフトウェア）が、同時に稼働するライセンス数を管理します。このため、使用するすべてのクライアント用コンピューターに Vectorworks クライアントをインストールしておき、必要な時だけライセンス管理ソフトウェアからライセンスを取得して Vectorworks を起動することができます。

Vectorworks ネットワーク版では Vectorworks Fundamentals をベースに、Vectorworks Design Suite/Architect/Landmark/Spotlight の各製品の機能を「モジュール」として提供しています。起動時にクライアント用コンピューター側でモジュールを選択して、必要な機能やツールが含まれている構成で Vectorworks ソフトウェアを使用できます。

なお、ライセンス管理ソフトウェアの母体は、米国 Reprise Software, Inc. 製のライセンス管理ソフトウェア、Reprise License Manager（RLM）を使用しています。

ライセンス管理ソフトウェアの構成や概要について詳細な情報が必要な場合は、Vectorworks ヘルプまたはサーバーインストールデータ同梱のリファレンスガイド .pdf を参照してください。

1-2. ライセンス管理ソフトウェアのプロテクトについて

ライセンス管理ソフトウェアのプロテクトは、インターネットを介したアクティベーションタイプでのご提供となります。

バージョンアップ時のセットアップ情報など、必要に応じ旧来の dongle タイプの情報は [54 ページの「8-1. Dongle タイプのプロテクトについて」](#)をご覧ください。

1-3. ライセンス管理ソフトウェアの機能

ライセンス管理ソフトウェアは以下の機能を持ち、個々の Vectorworks の起動やネットワーク全体での使用状況などを管理します。

- クライアントがライセンス管理ソフトウェアに接続した時に起動を承認
- ライセンスプール（ライセンス全体の管理）機能
- ライセンス利用状況の表示
- ログによるライセンス利用状況・クライアント接続状況の出力
- ライセンスの持ち出し機能
- ユーザー権限・ライセンス持ち出し可能モジュール・最大持ち出し日数などを管理

1-4. パッケージの内包物

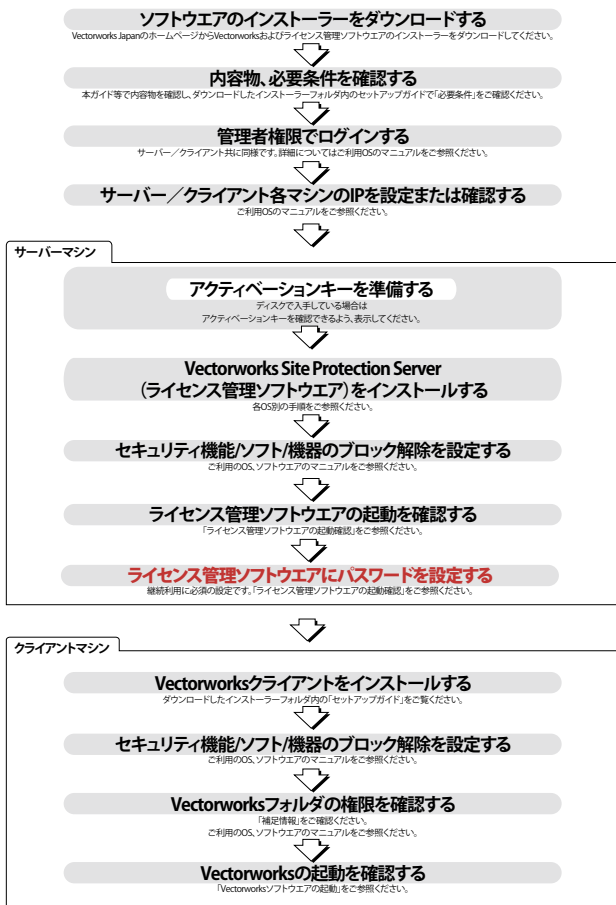
セットアップを始める前に、以下が入っている製品パッケージをお手元に準備してください。

- ・セットアップガイド
- ・製品購入書（Vectorworks クライアントのシリアル番号・アクティベーションキー）

1-5. セットアップから起動までの流れ

サーバーの運用方法には「アプリケーション」と「サービス（または Mac ではデーモン）」*1 がありますが、特別な場合をのぞき、通常は「サービス（または Mac ではデーモン）」での運用が便利です。下図ではセットアップの流れを説明しています。

*1 Windows のサービスや Mac のデーモンは、それぞれの OS が提供する機能です。
この機能により、コンピュータの起動時にライセンス管理ソフトウェアが自動的に起動します。



1-6. セットアップの前に

Vectorworks ネットワーク版をセットアップする前に、ライセンス管理ソフトウェアや Vectorworks ソフトウェアのインストーラーをダウンロードする必要があります。また、ここではセットアップに、最低限必要なコンピューターやネットワーク関連の用語をかいつまんで記載します。

用語の解説は概略ですので、一部イメージしやすく要約等をした記載です。

詳しく（もしくは正確に）は各 OS のマニュアルや関連資料等をご確認ください。

1-6-1. インストーラーのダウンロード

ダウンロードページ「<https://www.vectorworks.co.jp/dl/2025/>」へアクセスし、ライセンス管理ソフトウェアおよび Vectorworks クライアントのインストーラーをダウンロードしてください。



- 導入するコンピューターの OS にあわせてライセンス管理ソフトウェアまたは Vectorworks クライアントのインストーラーを適宜ダウンロードしてください。
- 複数台のコンピューターに Vectorworks クライアントをインストールする場合は、ダウンロードしたインストーラーを USB メモリなどにコピーしてご利用ください。
- Windows 環境でご利用の場合は、標準機能となる展開コマンドを使用して解凍してください。圧縮ファイルを右クリックし、「すべて展開」を選択することで、ZIP ファイルを解凍できます。



ダウンロードページが開かない場合

検索エンジンにて「Vectorworks」などで検索し、「ベクターワークスジャパン株式会社」Web ページ (<https://www.vectorworks.co.jp>) を開いてください。

ページ上部「サービス & サポート」から「ユーザー登録手続き」を開き、「2025 ご利用の手順ページへ」ボタンを押してください。

1-6-2. IP アドレス

IP アドレスは、ネットワーク上で使用するコンピューターの認識番号です。言い換えれば、ネットワーク上で使用するコンピューターの住所のようなものと言えます。ネットワーク上のコンピューターには、必ず固有の番号が割り当てられています。環境にもよりますが、通常は 0 から 255 までの数値をドット (.) 区切りの 4 ブロックで指定されています。例： 192.168.3.52

*** Vectorworks クライアントでライセンスの「持ち出し」を行う場合、サーバー用コンピューターの IP アドレスは固定してください。IP アドレスを自動割り当てにした場合、持ち出したライセンスが返却できなくなるなどの問題が発生する恐れがあります。**

使用中のコンピューターの IP アドレスは、次の方法で確認できます：

• Windows

1. スタートボタンの右にあるタスクバーの検索窓、もしくは虫眼鏡アイコンをクリックして、「コントロールパネル」を検索します。
2. コントロールパネルの右上にある検索ボックスに「アダプター」と入力し、「ネットワークと共有センター」の「ネットワーク接続の表示」をクリックします。
3. アクティブなネットワーク接続をクリックして、ツールバーで「この接続の状況を表示する」をクリックし、ダイアログボックス内の「詳細」ボタンをクリックします。
4. コンピューターの IP アドレスが、値列の「IPv4 IP アドレス」の横に表示されます。

• Mac

1. アップルメニュー (アップルマーク) > 「システム環境設定」を開きます。
2. 一覧から「ネットワーク」をクリックします。
3. アクティブなネットワーク接続を選択し、「詳細」もしくは「設定」ボタンを押します。
4. 「TCP/IP」タブを選択し、「IP(v4) アドレス：」に表示されている数字の文字列 (XXX.XXX.XXX.XXX) が IP アドレスとなります。

1-6-3. ポート番号

ポート番号は、IP アドレスの下に設けられるサブ的な認識番号です。

例えばコンピューターが住宅だとすると、IP アドレスはその住所、ポート番号は窓のようなものをイメージしてください。

通常、一軒の住宅には複数の窓がありますが、同じように 1 つの IP アドレスに対してもポート（通信を行うための「窓」）が複数存在します。

コンピューターは外部と同時に複数の通信を行います、一般的に通信を行うプログラム（またはタスク）ごとに固有のポートを使用します。

ポート番号は 16 ビットの整数で、0 番～ 65535 番まであります。

1-6-4. FireWall（ファイアウォール）

ファイアウォールは、外部からコンピューターへの不正侵入を防ぐシステムです。

OS が標準的に装備しているものや、セキュリティソフトが搭載しているもの、HUB やルータが搭載しているものなど、環境によりさまざまなものがあります。

2. ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ

2-1. 必要条件

本製品のご利用にあたり、サーバー／クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワーク環境が必要です。ご利用環境として、まず、以下の条件が必要となります。

*** Vectorworks 2025 をご利用の場合、Vectorworks 2025 版の Vectorworks Site Protection Server（ライセンス管理ソフトウェア）が必要です。**

- 1 台以上のサーバー用コンピューターと 1 台以上のクライアント用コンピューターが必要です。
- インストール、および運用時は管理者（Administrator）権限のあるユーザーアカウントが必要です。
- ウィルス対策およびセキュリティ系ソフトウェアが動作している場合には、すべてを停止した状態でインストールを行ってください。

2-1-1. ライセンス管理ソフトウェアの動作環境

Vectorworks Site Protection Server（ライセンス管理ソフトウェア）の推奨動作環境は以下の通りです：（2024 年 11 月 25 日現在）

☐ OS

Windows :

Windows 11
Windows 10 (64bit)
Windows Server 2019 以上

Mac :

macOS 15 (Sequoia)
macOS 14 (Sonoma)
macOS 13 (Ventura)
macOS 12 (Monterey)
macOS 11 (Big Sur)

上記以外の OS 対応状況については、弊社 Web サイト (<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq.html>) をご確認ください。

☐ CPU

64-bit Intel Core2 Duo 以上

□メモリ

4GB 以上

□その他

ハードディスク空容量：100MB 以上

100Mbps 以上の速度のネットワーク回線

TCP/IP プロトコル（必須）

サーバー / クライアント型のネットワーク環境、またはそれに準じたネットワークが整備された環境

サーバー専用パソコンが必要

アクティベーションにインターネット接続環境（発信ポート 80 および 443（TCP）を使用）

Vectorworks クライアントと起動確認のため TCP/IP ポート（デフォルトは 5053）を使用

RLM サーバーと ISV サーバーの連携のため UDP ポート（ランダム）を使用

ライセンス管理ソフトウェアをブラウザで管理するために TCP/IP ポート（5054）を使用

サーバーアプリケーション管理のためのブラウザ（必須）

対応クライアントアプリケーション

- Vectorworks 2018 ～ 2025 ネットワーク版
- Vectorworks 2015 ～ 2017 サイトプロテクションネットワーク版
- Vectorworks 2014 ネットワーク版 シリーズ G

* サーバー管理画面は英語表記になります。

* サーバーとクライアントは同一ネットワーク上で使用してください。

* ライセンス管理ソフトウェアと Vectorworks クライアントソフトウェアの動作環境は異なります。

* サーバー用コンピューターの IP アドレスは、原則的には固定してください。ただし、同じサブネット内であれば、サーバー用コンピューターの IP アドレスを固定しなくても IP アドレスの自動検知機能により接続できます。

* Vectorworks クライアントでライセンスの「持ち出し」を行う場合、サーバー用コンピューターの IP アドレスは固定してください。IP アドレスを自動割り当てにした場合、持ち出したライセンスが返却できなくなるなどの問題が発生する恐れがあります。

* 最新の情報は、以下の Web サイトでご確認ください。

<https://www.vectorworks.co.jp/Support/sysreq.html>

* 仮想化環境で利用するには特別な手続きが必要です。弊社カスタマーサポートデスクまでご相談ください。

<https://www.vectorworks.co.jp/customer/contact.html>

□内包物：ライセンス管理ソフトウェアのインストーラーフォルダには以下のファイルが含まれています。

サーバーインストーラー .pkg (Mac) またはサーバーインストーラー .exe (Windows)：ライセンス管理ソフトウェアをインストールします。

セットアップマニュアル .pdf：本マニュアルです。

リファレンスガイド .pdf：ライセンス管理ソフトウェアの詳細な設定についての情報などが記載されているマニュアルです。

「ログファイルコンバータ」フォルダ：レポートログの管理に使用できる LogFileConverter が格納されています。

2-2. ライセンス管理ソフトウェアのインストール

2-2-1. インストール前の準備

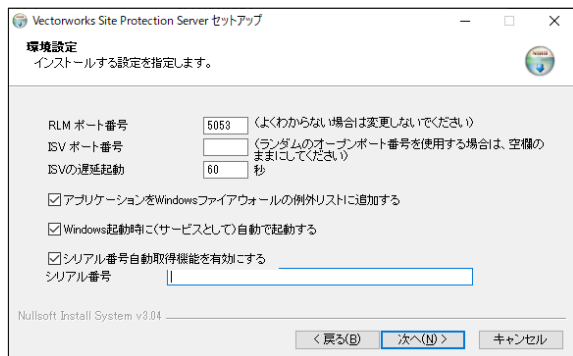
ライセンス管理ソフトウェアをインストールする前に以下をご確認ください。

- セットアップの前にインストーラーをダウンロードしておいてください。
- セットアップに必要な情報が同梱されているパッケージを準備してください。
- コンピューターのシステム時計を正確に合わせてください。
また、運用中もシステム時計が極力ずれないようにメンテナンスしてください。
システム時計が大幅にずれると、ライセンスのカウントなどに支障が出ます。
- コンピューターを LAN に接続し、ネットワークに接続できるかご確認ください。
- IP アドレスを確認してください。
Vectorworks クライアントの起動設定などで必要です。

確認方法は複数ありますが、方法が不明な場合は例として [8 ページの「1-6-2. IP アドレス」](#)をご覧ください。

2-2-2. Windows へのインストール

1. ダウンロードしたライセンス管理ソフトウェア用インストーラーフォルダ内の「サーバーインストーラー.exe」を起動します。
2. 「ようこそ」ダイアログボックスの後で、インストール先を確認するダイアログボックスが表示されます。適切な場所を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。
3. ライセンス管理ソフトウェアの起動方法の設定や Vectorworks ソフトウェアのシリアル番号を入力する環境設定の画面に切り替わります。ここに入力したシリアル番号は、環境が許す場合はクライアントのインストール時に表示されます。



ライセンス管理ソフトウェアが使用するポートについて

- * RLM ポート番号：Vectorworks クライアントと TCP/IP ポート（5053）で起動確認のための通信を行います。Vectorworks クライアントとサーバープログラムを特定のポート番号で接続したい場合は、ポート番号を入力します。
- * ISV ポート番号：RLM サーバーは、ISV サーバーと UDP ポート（ランダム）で通信を行い、連携して動作します。任意のポートに固定したい場合は、ポート番号を入力します。
- * ライセンス管理ソフトウェアは、この設定のほか、ライセンス管理ソフトウェアを管理するために、ブラウザと TCP/IP ポート（5054）で通信を行い、情報を表示します。
- * アクティベーションのために発信ポート 80 および 443（TCP）を使用します。

必要な場合はライセンス管理ソフトウェアが使用するポート番号を設定します。

- * **通常はポート番号の変更を行う必要はありませんが、ネットワーク管理上、必要な場合はここで設定することができます。**
- * **ポート番号の変更を行った場合は、クライアントのセットアップやバージョンアップ時などに変更した情報が必要となります。変更した番号をかならず控えておいてください。**

「ISV の遅延起動」の設定は、ISV サーバーの起動時間を、指定した秒数だけ遅らせます。サーバーシステムがドングルドライバーの特定に時間がかかる場合は、ここで時間を延長できます。

「アプリケーションを Windows ファイアウォールの例外リストに追加する」と「Windows 起動時に（サービスとして）自動で起動する」にチェックを入れたまま、「次へ」ボタンをクリックしてください。

4. アカウント名（ログイン名）を設定する画面に切り替わります。

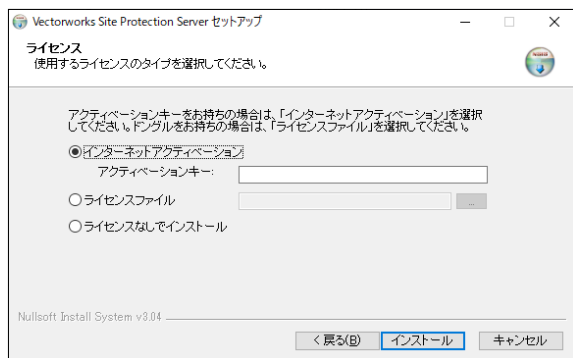


デフォルトのアカウント名または変更した名称を忘れないようにメモするなどしておいてください。

注意書きを確認し、チェックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

5. ダイアログボックスがライセンス管理ソフトウェアのライセンスタイプを設定する画面に切り替わります。

「インターネットアクティベーション」を選択し、アクティベーションキー入力ボックスにアクティベーションキーを入力します。



入力後「インストール」ボタンをクリックしてください。

6. 正常にインストール作業が終了すると、インストール完了を示すダイアログボックスが表示されます。「ライセンス管理ソフトウェアを起動する」にチェックを入れたまま、「完了」ボタンをクリックしてください。

-
7. 必要に応じ、セキュリティソフトやOSのファイアウォールの設定を確認してください。設定により通信が妨げられている場合、ライセンス管理ソフトウェアやクライアントのVectorworksの正常な動作に支障が出る可能性があります。

インストールが終了すると、「Vectorworks Site Protection Server」フォルダが生成され、ライセンス管理ソフトウェアがバックグラウンドで起動します。

インストールされる主なファイルは以下の通りです：

*** 動作に必要なファイルが複数インストールされますが、削除などしないでください。**

ライセンス管理ソフトウェアファイル一覧 (Windows)	
Config.txt	Vectorworks シリアル番号保存用ファイル
hasp_windows_40101.dll	ドングル関連ファイル
hasp_windows_60342.dll	ドングル関連ファイル
LogFileConverter.exe	ログファイルユーティリティ
rlm.exe	RLM ライセンスマネージャプログラム
rlm.pw	RLM ライセンスマネージャ関連書類
rlmanon.exe	RLM ログファイルの変更プログラム (使用しません)
rlmutil.exe	RLM ユーティリティプログラム (使用しません)
uninstall.exe	アンインストールバッチ
v2c	ドングル関連ファイル
SetupWebAccount.exe	RLM ライセンスマネージャ関連書類
vektorwrx.exe	ISV サーバーソフトウェア
Vectorworks Site Protection.exe	タスクトレイに表示される Site Protection Server の簡易操作インターフェイス
Strings.vwstrings	Vectorworks Site Protection.exe で使用するデータ

*** Log File Converter は仕様変更によりインストール場所が変わる場合があります。インストーラーフォルダに同じものが収録されていますので、ご利用ください。**

ライセンス管理ソフトウェアの本体はダイアログボックスなどのインターフェイスを搭載しておらず、本格的な操作は Web ブラウザで行います。

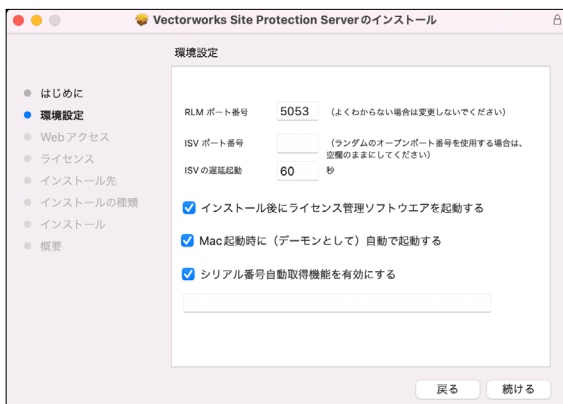
簡易的な操作は、タスクトレイから「Vectorworks Site Protection.exe」を介して行うことができます。

起動や動作の確認はこのあとの説明に従って行います。

詳しくは [22 ページの「2.3. ライセンス管理ソフトウェアの起動確認」](#)をご覧ください。

2-2-3. Mac へのインストール

1. ダウンロードしたライセンス管理ソフトウェア用インストーラーフォルダ内の「サーバーインストーラー.pkg」をダブルクリックし、インストール作業を開始します。
2. 「はじめに」ダイアログボックスの後で、ライセンス管理ソフトウェアの起動方法の設定や Vectorworks ソフトウェアのシリアル番号を入力する環境設定の画面に切り替わります。ここに入力したシリアル番号は、環境が許す場合はクライアントのインストール時に表示されます。



ライセンス管理ソフトウェアが使用するポートについて

- * RLM ポート番号：Vectorworks クライアントと TCP/IP ポート（5053）で起動確認のための通信を行います。Vectorworks クライアントとサーバープログラムを特定のポート番号で接続したい場合は、ポート番号を入力します。
- * ISV ポート番号：RLM サーバーは、ISV サーバーと UDP ポート（ランダム）で通信を行い、連携して動作します。任意のポートに固定したい場合は、ポート番号を入力します。
- * ライセンス管理ソフトウェアは、この設定のほか、ライセンス管理ソフトウェアを管理するために、ブラウザと TCP/IP ポート（5054）で通信を行い、情報を表示します。
- * アクティベーションのために発信ポート 80 および 443（TCP）を使用します。

必要な場合はライセンス管理ソフトウェアが使用するポート番号を設定します。

- ＊ 通常はポート番号の変更を行う必要はありませんが、ネットワーク管理上、必要な場合はここで設定することができます。
- ＊ ポート番号の変更を行った場合は、クライアントのセットアップやバージョンアップ時などに変更した情報が必要となります。変更した番号をかならず控えておいてください。

「ISV の遅延起動」の設定は、ISV サーバーの起動時間を、指定した秒数だけ遅らせます。サーバーシステムがドングルドライバーの特定に時間がかかる場合は、ここで時間を延長できます。

「インストール後にライセンス管理ソフトウェアを起動する」と「Mac 起動時に（デーモンとして）自動で起動する」にチェックを入れたまま、「続ける」ボタンをクリックしてください。

Mac のデーモンは OS が提供する機能です。

この機能を利用することで、ライセンス管理ソフトウェアが自動的に起動します。

3. アカウント名（ログイン名）を設定する画面に切り替わります。

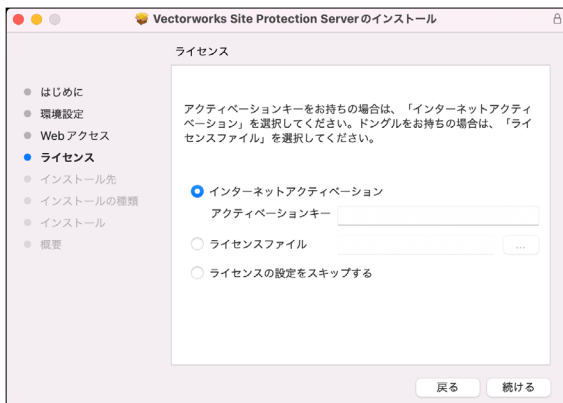


デフォルトのアカウント名または変更した名称を忘れないようにメモするなどしておいてください。

注意書きを確認し、チェックして、「次へ」ボタンをクリックしてください。

4. ダイアログボックスがライセンス管理ソフトウェアのライセンスタイプを設定する画面に切り変わります。

「インターネットアクティベーション」を選択し、アクティベーションキー入力ボックスにアクティベーションキーを入力します。



入力後「続ける」ボタンをクリックしてください。

-
5. インストール先を確認してインストールを続けます。正常にインストール作業が終了すると、インストール完了を示すダイアログボックスが表示されます。「閉じる」ボタンをクリックし、インストール作業を終了します。
ドングルプロテクトの場合、ドングルのランプが赤く点灯していることを確認してください。
 6. 必要に応じ、セキュリティソフトや OS のファイアウォールの設定を確認してください。設定により通信が妨げられている場合、ライセンス管理ソフトウェアやクライアントの Vectorworks の正常な動作に支障が出る可能性があります。

インストールが終了すると、デフォルトの設定ではアプリケーションフォルダにライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス用「Vectorworks Site Protection.app」がインストールされ、ライセンス管理ソフトウェアがバックグラウンドで起動します。

インストールされる主なファイルは以下の通りです：

- * 動作に必要なファイルが複数インストールされますが、削除などしないでください。

/Library/PrivilegedHelperTools/com.vectorworks.rlm

ライセンス管理ソフトウェアファイル一覧 (Mac)	
hasp_darwin_40101.dylib	dongle関連ファイル
hasp_darwin_60342.dylib	dongle関連ファイル
rlm	RLM ライセンスマネージャプログラム
rlm.pw	RLM ライセンスマネージャ関連書類
rlmanon	RLM ログファイルの変更プログラム (使用しません)
rlmtests	RLM 性能テストプログラム (使用しません)
RunAfterDelay	RLM ライセンスマネージャ関連書類
v2c	dongle関連ファイル
vektorwrx	ISV サーバーソフトウェア

ログファイルの変換に使用可能な「Log File Converter.app」は Vectorworks Site Protection.app > Contents > MacOS に同時にインストールされます。

- * **Log File Converter** を使用する場合は、**Vectorworks Site Protection .app** を選択してコンテキストメニュー (Ctrl + クリック) から「パッケージの内容を表示」を選択し、上記階層を表示することができます。
- * **Log File Converter** は仕様変更によりインストール場所が変わる場合があります。インストーラーフォルダに同じものが収録されていますので、ご利用ください。

ライセンス管理ソフトウェアの本体はダイアログボックスなどのインターフェイスを掲載しておらず、本格的な操作は Web ブラウザで行います。

簡易的な操作は、メニューバーから「Vectorworks Site Protection.app」を介して行うことができます。

起動や動作の確認はこのあとの説明に従って行います。

2-3. ライセンス管理ソフトウェアの起動確認

2-3-1. サーバー管理ログインアカウントの設定

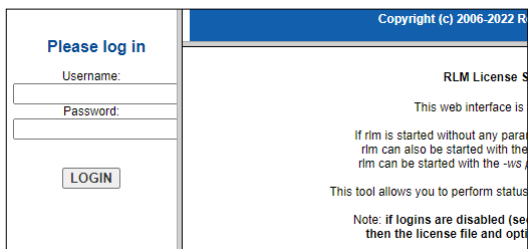
インストールが済んだら、管理用のログインアカウントを設定します。

管理用ログインアカウントの設定は必須です。

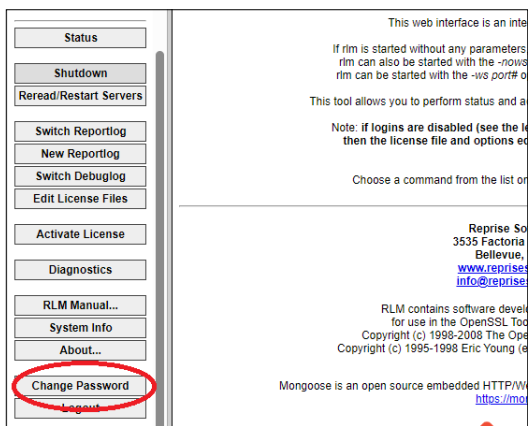
アカウント設定を実施しないと、継続的にライセンス管理ソフトウェアを利用することができません。

忘れずに設定を行ってください。

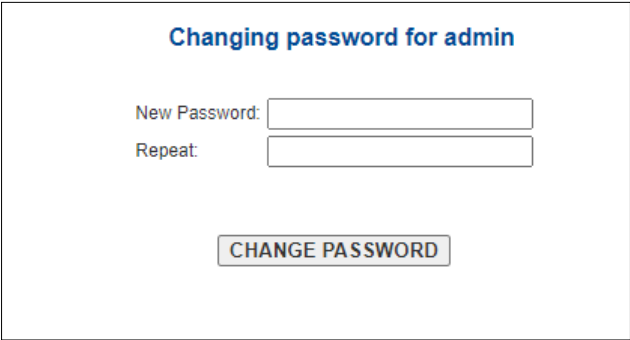
デフォルトの設定のままインストールすると、直後にプログラムと共にブラウザの管理画面が表示されます。



左側ペインの「Username」に、インストール時にメモしておいたアカウント名（ログイン名）を入力して「LOGIN」ボタンをクリックすると、メニューが展開されます。



「Change Password」ボタンをクリックして、パスワードを設定してください。



Changing password for admin

New Password:

Repeat:

CHANGE PASSWORD

パスワードは忘れないようにメモ等をとっておいてください。

以降、管理画面で各種操作を行う際に設定したアカウント名（ログイン名）とパスワードを使用してログインする事で、各種操作を行うことができます。

- * この設定を実施せずに放置すると、セキュリティ上の観点から約 10 分でサーバーがシャットダウンされます。
かならずこの設定を実施して以降のステップに進んでください。
- * admin をパスワードとして設定することはできません。
- * 通常の利用にあたり、ライセンス管理ソフトウェア管理画面を開いてログインアカウント設定以外の細かな設定を変更する必要はありません。ISV/RLM オプションの編集など、詳細な管理機能を利用する場合は、ログインアカウントを設定後、リファレンスガイド.pdf を参照して設定を行ってください。



2-3-2. Vectorworks Site Protection アイコンを使用した起動状況確認

ライセンス管理ソフトウェアの起動状況は通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）に表示されるライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス（以下、Vectorworks Site Protection アイコン）から確認するか、Web ブラウザでライセンス管理画面を表示して確認することができます。

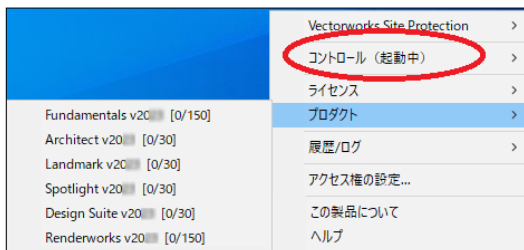
＜ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス＞



Vectorworks Site Protection アイコンの表示の状態でライセンス管理ソフトウェアの状況を視覚的に確認することができます。

- 起動中の表示：
- 起動していない状態（アイコンに赤点が表示されます）：

Vectorworks Site Protection アイコンの上でマウスを Windows は右クリック、Mac はクリックしてメニューを表示すると、起動中であれば「コントロール（起動中）」と表示されます。

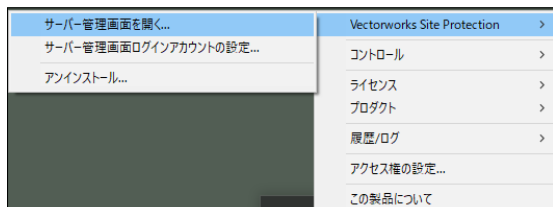


また、メニュー内のプロダクトにマウスを移動すると、ライセンス上有効な Vectorworks のモジュールの上限や起動中の本数が表示されます。
なんらかの理由でライセンス管理ソフトウェアが起動していない場合は、何も表示されません。

2-3-3. ライセンス管理画面の表示

ライセンスの詳細な各種管理を行うための管理画面 (Reprise License Server Administration) は Web ブラウザから表示します。ここでは管理画面の開き方を記載します。この操作は、詳細な各種設定を行うための最初のステップです。「Reprise License Server Administration」ウインドウ（以下、管理画面）を表示するには：

- 1 Vectorworks Site Protection アイコンのメニューで「サーバー管理画面を開く」を選択します。



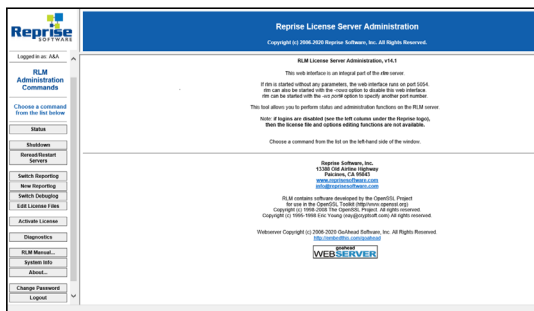
または、ライセンス管理ソフトウェアが起動しているコンピューターでブラウザウインドウを開き、アドレスに <http://localhost:5054> を入力し、確定します。

- * サーバー機以外のコンピューターから管理画面を開くには、

<http://192.168.1.1:5054>

のように、ブラウザのアドレスにサーバーのIPアドレスとポート番号を入力します。

- 2 管理画面が開きます。

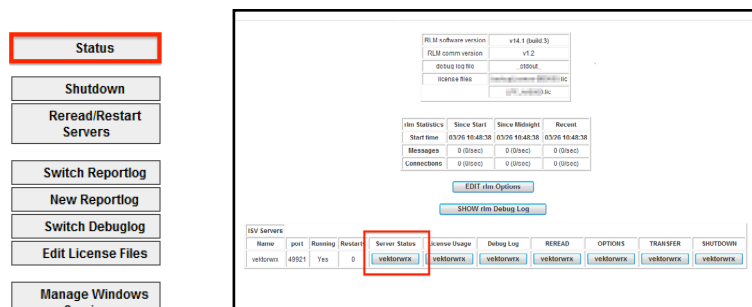


ライセンス管理ソフトウェア管理画面の左ペインの各ボタンで、ライセンス管理ソフトウェアの各操作を行うことができます。

2-3-4. 稼働状況の確認

ライセンス管理ソフトウェアの稼働状況は以下の手順で確認することができます。

- 1 管理画面の左ペインで「Status」をクリックし、ステータス画面を表示します。
- 2 ステータス画面の Server Status 列にある「vektorwrx」をクリックすると、現在のライセンス管理の状況が表示されます。



* ボタンが表示されない場合は、セットアップに問題がある可能性があります。
サーバー用コンピューターの再起動、セキュリティソフトや、OSのファイアウォールの設定、 dongleタイプの場合は dongleの装着状況を確認してください。

ここまでの操作で ISV サーバーの状況を表示します。この画面は Vectorworks ネットワーク版のライセンス利用状況の確認などにも使用します。

License pool status													
① Product	Pool	Ver	Expires	② count	soft lim	③ inuse	res	hostid	timeout	share	transactions	Show License Usage	
fundamentals	1	20	permanent	6	6	2	0		0	None	34	usage...	
architect	2	20	permanent	1	1	1	0		0	None	5	usage...	
landmark	3	20	permanent	1	1	0	0		0	None	11	usage...	
spotlight	4	20	permanent	1	1	0	0		0	None	2	usage...	
designer	5	20	permanent	1	1	1	0		0	None	10	usage...	
renderworks	6	20	permanent	1	1	1	0		0	None	17	usage...	
rfm_roam	7	1.0	permanent	Uncounted	0	0	0	ANY	0	None	24	usage...	

さまざまな情報が表示されますが、「License pool status」で具体的な稼働状況が確認できます。導入中のライセンスと照らしあわせて、起動状況を確認してください。

① Product (プロダクト) :

製品名 (モジュール名) を表示します。

② Count (カウント) :

ライセンス管理ソフトウェアで使用可能な、各ライセンス数を表示します。

③ inuse (インユース) :

現在使用されているライセンス数を表示します。

この例では、Fundamentals で最大 6 本、Architect、Landmark、Spotlight、Design Suite (表示は Designer)、Renderworks を各 1 ライセンスずつ付加することができます。

現在、2 台のクライアントがライセンスを使用中で、残りのライセンスは

Fundamentals が最大 4 本、Landmark、Spotlight を各 1 ライセンス付加することが可能です。

*** モジュールやライセンスの追加購入しても情報が正しく表示されていない場合は、最新のライセンスファイルを使用していない可能性があります。正しいライセンスファイルがインストールされているかを確認してください。詳細は [40 ページの「5-4. ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点」](#) をご覧ください。**

ライセンス管理ソフトウェアはライセンス管理を行うためにさまざまな機能を搭載しています。詳しくは Vectorworks ヘルプまたはサーバーインストールデータ同梱のリリースガイド.pdf をご覧ください。

3. Vectorworks クライアントのセットアップ

Vectorworks クライアントのセットアップや起動、必要条件など動作に関する詳細な情報などの重要な情報については、お客様がダウンロードした Vectorworks インストール用データ内のセットアップマニュアルに記載されています。

動作環境などは、Vectorworks ソフトウェアをご利用いただくにあたり非常に重要な情報です。

Vectorworks ソフトウェアのセットアップマニュアルを必ずご覧いただき、インストールを行ってください。

- * **Vectorworks 2025 をご利用いただくには、最新の Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア) が必須です。**
古いバージョンの Vectorworks Site Protection Server をご利用の場合は、再インストールを行なってください。

本マニュアルでは、インストールと起動のフローを抜粋して記載します。

3-1. Vectorworks 2025 のインストール

3-1-1. インストール前の準備

Vectorworks ソフトウェアをインストールする前に以下をご確認ください。

- コンピューターのシステム時計を正確に合わせてください。
また、運用中もシステム時計が極力ずれないようにメンテナンスしてください。
システム時計が大幅にずれると、ライセンスのカウントなどに支障が出ます。
- コンピューターを LAN に接続し、ネットワークに接続できるかご確認ください。
- コンピューターの言語で「日本語」を選択してください。
- プリンタードライバーをインストールしてください。
- ユーザーアカウント名に 1 バイト（半角英数字）が使用されていることをご確認ください。2 バイト（日本語文字）の場合は、1 バイトへ変更してください。
- グラフィックスドライバーを最新バージョンへアップデートしてください。
(Windows)
- Vectorworks のインストールや導入環境などについて、詳しくはダウンロードしたインストーラーフォルダを解凍し、同梱のセットアップマニュアルをご覧ください。

3-1-2. モジュールを追加した場合のインストール

モジュール追加サービス製品（Architect、Landmark、Spotlight、Design Suite モジュール）をご購入された場合は、Vectorworks の再インストールを行う必要はありません。ライセンス管理ソフトウェア側でライセンスファイルの更新が必要です。

詳細は [40 ページの「5-4. ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点」](#) をご覧ください。

- ＊ モジュールを追加した場合、追加したモジュールのライブラリファイルを利用することができます。リソースマネージャまたはヘルプメニューの「オプションライブラリ (ダウンロード)」を選択して任意のライブラリファイルをダウンロードしてご利用ください。

3-1-3. シリアル番号の準備

ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に Vectorworks のシリアル番号を登録していない、またはインストール環境によりライセンス管理ソフトウェアの情報を利用できない場合は、Vectorworks 2025 のセットアップ中にシリアル番号の入力が必要です。

適切なシリアル番号をご用意の上、インストール作業を行ってください。

シリアル番号は、製品内の製品購入書に記載されています。

追加ライセンス購入時、モジュール追加購入時にはシリアル番号は通知されません。

初回ご購入に納品された製品パッケージ同梱の製品購入書記載のシリアル番号をご利用ください

3-1-4. シリアル番号について

- シリアル番号は全 24 桁です。
例：GLXJAZ-XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX
- シリアル番号はすべて半角英数字（1 バイト文字）の大文字です。入力時は全角や小文字を使用しないでください。
- シリアル番号はアルファベットの O（オー）と I（アイ）は使用していません。「0」はゼロを、「1」はイチを意味します。
- シリアル番号には「-」（ハイフン）が必要です。

3-1-5. Vectorworks ソフトウェアのインストール手順

以下が、Vectorworks ソフトウェアをインストールするための具体的な手順です。

Vectorworks のインストールや導入環境などについて、詳しくはダウンロードしたインストーラーフォルダを解凍し、同梱のセットアップマニュアルをご覧ください。

1. ダウンロードした Vectorworks インストーラーフォルダを解凍し、開いてください。
2. フォルダ内の「Vectorworks Install Manager」をダブルクリックします。
3. インストールダイアログボックスが表示されます。
ダイアログボックスに表示される指示に従い、インストールを実行していきます。

Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。

ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。

4. インストールが終了すると、オプションダイアログボックスが表示されます。
任意のオプションを選択してください。
「終了」ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。

「Vectorworks の起動」にチェックを入れると、Vectorworks が自動的に起動します。

*** インストール中に『License Description File(LDF) の取得エラー』が表示された場合は、インストーラーデータに同梱されている「セットアップマニュアル.pdf」の B. 注意点の「2. インストール時に『License Description File(LDF) の取得エラー』が表示された場合」をご確認頂くか、下記 Web ページをご参照ください。**

https://www.vectorworks.co.jp/Support/tips/get_LDF.html

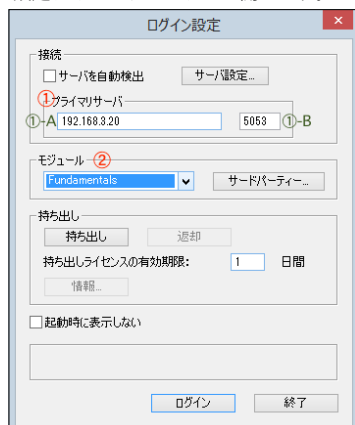
3-2. Vectorworks 2025 の起動

Vectorworks ネットワーク版のクライアントソフトウェアを起動すると、サーバーソフトウェアと通信を行います。このため、起動にはサーバー用コンピューターとのネットワーク接続が必要です。

*** ソフトウェアのライセンスを「持ち出し」している場合、期間内はネットワークに接続する必要はありません。**

3-2-1. Vectorworks の起動

1. Vectorworks ソフトウェアを起動します。
インストール時にインストール先を変更しなかった場合は、以下の階層にインストールされています。
Windows : 起動ディスク>「Program Files」フォルダ> VW2025_Net
Mac : 起動ディスク>「アプリケーション」フォルダ> VW2025_Net
- ・起動手順
 - 1-1. Vectorworks 2025 アイコンをダブルクリックしてください。
 - 1-2. Vectorworks ソフトウェアが起動します。
 - 1-3. ログイン設定ダイアログボックスが開きます。



2. ログイン設定を行います。
- ①: プライマリサーバー
「サーバーを自動検出」の設定をオフにし、ライセンス管理ソフトウェアを起動しているサーバー用コンピューターの情報を入力します。
 - ①-A: サーバー用コンピューターの IP アドレスを入力します。例: 192.168.3.20
 - ①-B: サーバー用コンピューターのポート番号を入力します。
デフォルトは 5053 です。

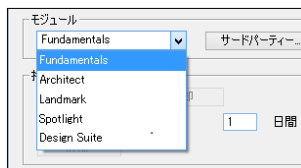
ライセンス管理ソフトウェアのセットアップ時に変更している場合は、セットアップ時に控えておいた変更後の番号を入力してください。

- * 設定により、一時的にネットワークから切り離された環境で使用することもできますが、「持ち出し」機能を使用するには、サーバー用コンピュータの IP アドレスが固定されている必要があります。
- * 「持ち出し」機能を使用した場合、サーバー用コンピュータ / クライアント用コンピュータ共に、持ち出し期間中の OS アップデート（マイナーアップデート含む）やハードウェア構成の変更などはお控えください。持ち出し期間中に上記作業を行なった場合、コンピュータ情報が変更されるため、持ち出し情報が消去され正常に返却ができないなど、意図しない動作が起きる可能性があります。
- * ログイン設定ダイアログボックスの各種設定の詳細について、詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf をご覧ください。

②：モジュール設定

使用するモジュールの選択を行います。

モジュールをクリックすると、モジュールポップアップメニューが表示されます。



必要なモジュールを選択します。

- * 利用できるのはライセンスをお持ちの製品のみです。ライセンスをお持ちでない製品は利用できません。
- * クライアントで使用できる作業画面は、使用するモジュールによって異なります。初回起動時に警告が出る場合がありますが、そのまま起動してください。

モジュール	使用できる作業画面
Fundamentals	Fundamentals
Architect	Fundamentals、Architect、Architect-BIM
Landmark	Fundamentals、Landmark
Spotlight	Fundamentals、Spotlight
Design Suite	Design Suite を含むすべて

3. **ログイン**をクリックします。Vectorworks ソフトウェアが正常にサーバー用コンピュータと通信し、ライセンス管理ソフトウェアが起動を許可すると、Vectorworks ソフトウェアの起動をはじめます。
4. Vectorworks を初めて起動すると、Vectorworks サインインダイアログボックスが開きます。
5. Vectorworks アカウントをお持ちの方は、ユーザー名とパスワードを入力し、「サインイン」ボタンをクリックします。アカウントをお持ちでない場合は、「アカウントを作成」から新しいアカウントを作成してください。
または各連携アカウントからサインインしてください。
6. アンケート入力画面が表示されます。
アンケートをご記入いただき、「送信」ボタンをクリックすると、ソフトウェアが起動します。

3-2-2. アップデータ有無の確認

以下の手順でアップデータの有無を確認してください。
アップデータが存在する場合、必ず Vectorworks 2025 のアップデートを行ってください。

*** アップデータのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

Windows : 「ヘルプ」メニュー> 「アップデータを確認」

Mac : 「Vectorworks」メニュー> 「アップデータを確認」

アップデータの適用方法に関して、詳しくは Vectorworks ヘルプの「Vectorworks 製品を更新する」をご参照ください。

3-2-3. 移行マネージャについて

Vectorworks ソフトウェアを初めて起動した時、旧バージョンのユーザフォルダが検出された場合、移行マネージャが起動します。

移行マネージャは旧バージョンの作業環境を引き継ぐことができる機能です。

ユーザーのコンピュータにインストールされている過去の Vectorworks を検索し、旧作業環境（バージョン）の「作業画面」、「テンプレートファイル」、「ライブラリファイル」、「リソースファイル」、「環境設定」を Vectorworks 2025 へ移行します。

移行手順などの詳細については、ダウンロードしたインストーラーフォルダを解凍し、同梱のセットアップマニュアルをご覧ください。

移行マネージャは、初回起動時のみではなく、ツールメニュー> 移行マネージャ から任意のタイミングで実行することもできます。

詳しくは Vectorworks ヘルプの「Vectorworks 移行マネージャ」をご参照ください。

3-2-4. オンラインリソースライブラリの更新

ライブラリファイルはオンラインリソースライブラリから入手することができます。
(インターネット接続環境が必要です。)

*** ライブラリの情報更新やファイルダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

初回起動時、及び最新版のオンラインリソースライブラリが存在する場合、ダイアログボックスが表示されます。

更新を行う場合は「ダウンロードして更新」をクリックしてください。

3-2-5. ライブラリファイルの追加インストール

オプションライブラリファイルは、リソースマネージャで必要なリソースを確認しながら追加（ダウンロード）することができます。

もしくは、Vectorworks のヘルプメニューの「オプションライブラリ (ダウンロード)」を選択すると、Vectorworks Package Manager を使用して任意のライブラリをダウンロードすることもできます。

任意のライブラリのインストールボタンを押すとライブラリファイルが Vectorworks フォルダ > Libraries フォルダに自動的にインストールされます。

Vectorworks Package Manager を使用した場合は、ダウンロード終了後にメニューから Vectorworks Package Manager を終了してください。

*** ライセンスをお持ちでない製品のライブラリファイルを選択すると、ライブラリファイルはインストールされますが利用できません。適切な製品のライブラリファイルを選択してインストールしてください。**

*** ライブラリのダウンロードにかかるインターネット接続料や通信料はお客様のご負担となります。**

4. アンインストールについて

Vectorworks ネットワーク版をアンインストールする必要がある場合は、以下の方法で行うことができます。

Vectorworks ネットワーク版は、以下のものから構成されています。

- Vectorworks ソフトウェア（クライアント）
- その他のファイル
- ライセンス管理ソフトウェア

これらのアンインストール手順について説明します。

*** ライセンス管理ソフトウェアをアンインストールした後は必ずコンピュータを再起動してください。コンピュータ再起動後のログインは「管理者権限（Administrator）」で行ってください。**

4-1. Vectorworks ソフトウェアとその他のファイル

Vectorworks ソフトウェアをインストールすると、Vectorworks 関連のファイル / フォルダと、Windows 環境では dll がインストールされます。

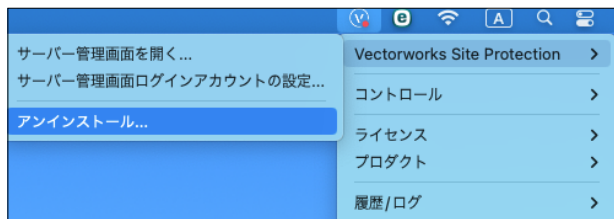
アンインストールについての情報は、ダウンロードしたインストーラーフォルダを解凍し、同梱のセットアップマニュアルをご覧ください。

*** dll は他のソフトウェアが使用している場合があります、削除するとそれらのソフトウェアが動作しなくなる場合があります。Vectorworks 以外で使用していないことが確実でない限り、削除しないことをお勧めします。**

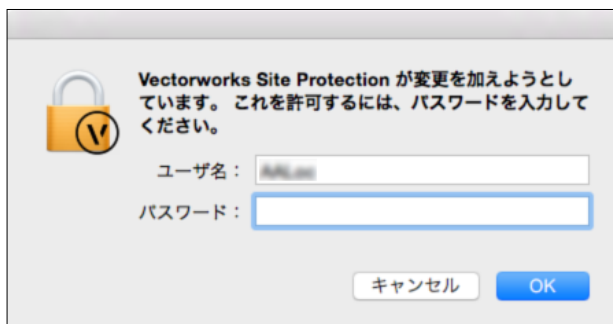
4-2. ライセンス管理ソフトウェア

ライセンス管理ソフトウェアのアンインストールは、通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）に表示されるライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス（以下、Vectorworks Site Protection アイコン）から行います。

1. Vectorworks Site Protection アイコンのメニューから「アンインストール」を実行してください。



-
2. Mac はユーザ名とパスワードを求められることがあります。
ログインしている macOS のアカウントのユーザ名とパスワードを入力してください。



3. Vectorworks Site Protection のアンインストールダイアログボックスが表示されます。
「ライセンスファイル、ログファイル、設定ファイルも削除する」 および 「インターネットアクティベーションライセンスを解除」 を選択してアンインストールを実行してください。



5. 補足情報

5-1. Vectorworks フォルダのアクセス権について

Vectorworks フォルダのアクセス権が正しくないと正常に利用できないことがあります。Vectorworks ソフトウェアをインストールした後に、OS 上でフォルダやファイルのアクセス権を制限すると、Vectorworks ソフトウェアが正常に動作しなくなることがあります。OS で利用できるアプリケーションを制限している場合にも Vectorworks ソフトウェアが起動しないことがあります。

5-1-1. フォルダ・ファイルのアクセス権に関する注意点

- インストールの前に、インストール先フォルダ (アプリケーションフォルダなど) のアクセス権が「読み書き可能」になっていることを確認してください。
- インストール後、Vectorworks フォルダとその中に含まれるファイルおよびフォルダのアクセス権は変更しないでください。(「読み書き可能」となっているはずですので、そのままにしてください)
- マルチユーザーの OS では、あるユーザーアカウントでインストールを行うと、別のユーザーアカウントでログインした場合に Vectorworks が利用できなくなることがあります。Vectorworks フォルダが、Vectorworks を利用するすべてのユーザーアカウントで「読み書き可能」となっていることを確認してください。

以上は、Vectorworks ソフトウェアが動作中に、各種設定などを Vectorworks フォルダ内 (その下位のフォルダも含む) に保存するためであり、正しく保存されない場合は、Vectorworks ソフトウェアが正常に動作・起動しないことがあります。

5-1-2. アプリケーションのアクセス権に関する注意点

- macOS では、ユーザーアカウントごとに、利用できるアプリケーションを制限できます。もし Vectorworks が起動できない場合は、この設定でもご確認ください。
- ユーザーアカウントの設定方法や、フォルダ・ファイルのアクセス権の設定方法などは、お使いの OS のマニュアル等をご覧ください。

5-2. ソフトウェアの FireWall 解除設定について (Windows)

Vectorworks ネットワーク版を使用する場合は、FireWall のブロックを解除するように設定してください。解除設定は OS によって異なりますので、詳しい設定は各 OS のマニュアルをご参照ください。

ライセンス管理ソフトウェアはインストール時にこの設定を省くオプションが用意されていますので、ご活用ください。

Windows 10・11 64bit

【プログラム】

1. 「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「アクセスを許可する」ボタンをクリックします。

【サービス】

1. コントロールパネル > Windows ファイアウォール > Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可します。
2. 「別のプログラムの許可」ボタンをクリック > 参照ボタンで、rlm.exe および vektorwrx.exe (Vectorworks Site Protection Server フォルダ内) を指定して OK ボタンをクリックします。

Windows Server

【プログラム】

1. 「Windows セキュリティの重要な警告」ダイアログボックスが表示されます。
2. 「プライベートネットワーク」「パブリックネットワーク」にチェックを入れ、「アクセスを許可する」ボタンをクリックします。

【サービス】

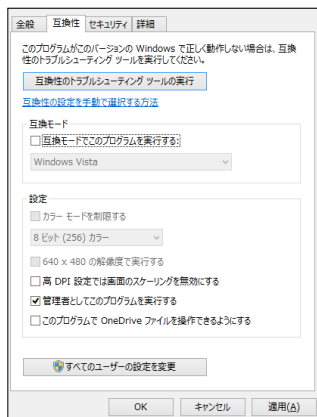
1. コントロールパネル > システムとセキュリティ > ファイアウォールの状態の確認 > Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可します。
2. 「別のプログラムの許可」ボタンをクリック > 参照ボタンで、rlm.exe および vektorwrx.exe (Vectorworks Site Protection Server フォルダ内) を指定して OK ボタンをクリックします。

5-3. Windows 環境の複数アカウントでのクライアント運用について

Windows 環境で、Vectorworks クライアントを同一コンピューター上において、複数のユーザーアカウントで利用される場合には、ユーザーアカウントごとに初回起動時のシリアル番号の入力が必要になります。

ユーザーアカウントごとのシリアル番号の入力を省略して利用されたい場合は、以下の点にご注意いただき、セットアップを行ってください。

1. Vectorworks クライアントをインストールする際は、必ず管理者アカウントにて行ってください。
2. 管理者アカウントでインストール後、インストールした「VW2025_Net」プログラムフォルダを開きます。
3. フォルダ内の「Vectorworks2025.exe」アイコンを右クリックして「プロパティ」を選択します。
4. プロパティダイアログボックス内の「互換性」タブから「管理者としてこのプログラムを実行する」オプションにチェックを入れてください。



5. 任意のユーザーアカウントに切り替えて、Vectorworks の起動をご確認ください。

5-4. ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点

Vectorworks をバージョンアップした場合や、ライセンスやモジュールの追加や変更をするには、ライセンス管理ソフトウェアのライセンスファイルを入れ替える必要があります。

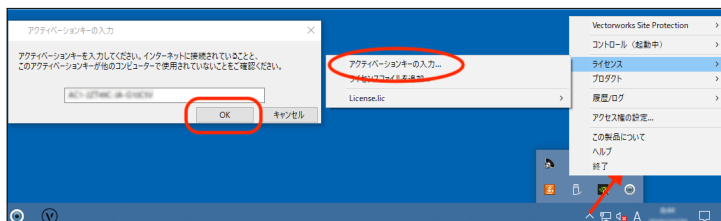
- * **Vectorworks 2025 をご利用いただくには、最新の Vectorworks Site Protection Server (ライセンス管理ソフトウェア) が必須です。**
古いバージョンの Vectorworks Site Protection Server をご利用の場合は、再インストールを行なってください。

モジュール追加などでライセンスファイルだけを入れ替える場合は、以下の手順に従ってライセンスファイルを更新することができます。

1. Vectorworks クライアントが「持ち出し」しているライセンスをすべて返却してください。
 - * ライセンスを持ち出したままライセンスファイルの更新を行うとライセンスを返却できなくなります。必ず返却してください。
 - * ライセンスの持ち出し状況は、サーバープログラム上で確認できます (「License Pool Status (ライセンスプールのステータス)」)。
2. Vectorworks クライアントをすべて終了してください。
3. ライセンス管理ソフトウェアでポート番号の変更を行っている場合は、その内容を控えておいてください。

4. ライセンスの変更手順は以下の通りです：

- 4-1-1. 通知領域またはタスクトレイ（Windows）またはメニューバー（Mac）に表示される Vectorworks Site Protection アイコンのアイコンメニューから、ライセンス > アクティベーションキーの入力を実行します。
- 4-1-2. アクティベーションキーの入力ダイアログボックスに、すでに登録したキーが表示されるので、そのまま OK ボタンをクリックすることで、ライセンスファイルが更新されます。



＊ 開発元のライセンス設定変更数に数日かかる場合があります、新しいライセンスがすぐに更新されない場合、時間を空けてお試しください。

5. ポート番号の変更が必要な場合はインストール時に控えた内容をもとに再設定をしてください。詳しくは Vectorworks ヘルプまたはサーバーインストールデータ同梱のリファレンスガイド .pdf の「ポート番号を変更する」をご覧ください。
6. モジュールの追加をした場合は、必要に応じ Vectorworks クライアントからオプションライブラリをダウンロードしてご利用いただけます。

- ＊ クライアント用コンピューターを増設した場合の Vectorworks クライアントソフトウェアのインストールについては、[28 ページの「3. Vectorworks クライアントのセットアップ」](#)をご参照ください。
- ＊ バージョンアップ時にはライセンス管理ソフトウェアの機能アップや障害修正を行っているケースが多いため、通常再インストール作業を伴います。旧バージョンのライセンス管理ソフトウェアをアンインストール後に、新しいライセンス管理ソフトウェアをインストールしなおしてご利用ください。

6. ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作

ライセンス管理ソフトウェアは、Web ブラウザを使用して英語表記の管理画面を表示することですべての機能を使用することができますが、サーバーとしての一般的な確認や操作は簡易操作インターフェイスから簡単に確認、ご利用いただけます。

ライセンス管理ソフトウェアをインストールすると、起動状況の確認やライセンスファイルの管理などが操作可能な簡易操作インターフェイスもインストールされます。

これまでの解説ですでに記載してきましたが、ここでは簡易操作インターフェイスの機能をまとめて説明します。

また、ライセンス管理ソフトウェア側で Vectorworks クライアントのモジュール管理が容易になったため、抜粋して解説します。



管理者がサーバー用コンピューターを容易に操作可能な環境で、ライセンスの利用状況の簡易的な把握や、シンプルにライセンス管理ソフトウェアの起動状況などを確認したい場合は、簡易操作インターフェイスからの操作をお勧めします。

サーバー用コンピューターがサーバールームなどに設置されており、容易にアクセスできないケースや、個別にライセンスの持ち出しを制御するなどの細かなライセンス管理が必要な場合は、ライセンス管理画面から操作してください。



6-1. 簡易操作インターフェイスの表示について

ライセンス管理ソフトウェアをインストールすると、簡易操作インターフェイス（以下、Vectorworks Site Protection アイコン）が、通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）に表示されます。

＜ライセンス管理ソフトウェアの簡易操作インターフェイス＞



アイコンの表示の状態でライセンス管理ソフトウェアの起動状況を視覚的に確認することができます。

-  : 起動中の表示
-  : 起動していない状態（アイコンに赤点が表示されます）

6-2. 簡易操作インターフェイスの基本操作について

Vectorworks Site Protection アイコンの上でマウスを Windows は右クリック、Mac はクリックすると、簡易操作インターフェイスのメニューが表示されます。

表示されるメニューは以下の通りです：

メニューコマンド	説明
Vectorworks Site Protection	サーバー管理画面の表示やログイン、アンインストールなどに関わるメニューコマンドです。
サーバー管理画面を開く	サーバー管理画面の Web ブラウザインターフェイス（英語表記）を起動します。 Windows ユーザーは、アイコンをダブルクリックすることで、直接開くこともできます。

メニューコマンド	説明
サーバー管理画面ログインアカウントの設定	<p>サーバー管理画面のログインアカウントを設定するためのメニューコマンドです。</p> <p>サーバー管理画面ログインアカウントの設定ダイアログボックスが開きます。Web インターフェイスにログインするログイン名を入力します。</p> <p>既存のログイン名がある場合は上書きします。</p> <p>デフォルトで空のパスワードが作成されます。パスワードについての詳細は、Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「サーバーのパスワードを設定する」を参照してください。</p> <p>Web ブラウザインターフェイスが開きます。それまでアクセスしたことがなければ、場合によりインターフェイスの画面左側から再度ログインする必要があります。</p>
アンインストール	ライセンス管理ソフトウェアをアンインストールします。
コントロール	ISV サーバーをコントロールします。
スタート	ライセンス管理ソフトウェアがアクティブの場合は、コントロールメニューに「起動中」と表示されます。
スタート	停止しているサーバーを開始します。
リスタート	すべての設定とライセンスファイルを再度読み込んで、サーバーを再起動します。RLM サーバー全体を再起動するわけではありません。
ストップ	サーバーを停止します。再起動するには、スタートをクリックします。
ライセンス	ライセンス管理ソフトウェアのライセンスについての操作をします。
アクティベーションキーの入力	ライセンス管理ソフトウェアを dongle ではなくアクティベーションキーで有効にしている場合は、発行されたアクティベーションキーを入力してライセンスを有効にします。
ライセンスファイルを追加	ライセンスファイル (.lic ファイル) を選択して指定します。
ライセンスファイル名	現在のすべてのライセンスファイルの名前が表示されます。
	必要に応じて、任意のライセンスを無効にできます。

メニューコマンド	説明
解除	<p>ライセンスファイルを削除します。</p> <p>ライセンス管理ソフトウェアをドングルではなくアクティベーションキーで有効にしている場合は、以前にアクティベートしたライセンスを無効にして、サーバーソフトウェアを別のコンピュータで実行できるようにします。</p> <p>* ライセンスを無効にすると、ライセンスサーバーが再起動され、現在接続されているユーザーとの接続が切断されます。</p>
プロダクト	<p>使用可能な（Vectorworks クライアントの）製品ライセンスが一覧表示され、製品ごとに現在使用中のライセンス数が表示されます。</p>
履歴／ログ	<p>デバッグやレポートログについての詳細は、Vectorworks ヘルプをご覧ください。</p>
使用履歴を表示	<p>使用履歴ダイアログボックスが開き、製品別の使用統計がグラフ表示されます。</p> <p>プロダクトリストで製品を選択すると、その期間の使用履歴が表示されます。Xをクリックしてダイアログボックスを閉じます。</p>
デバッグログを表示	<p>サーバーの起動で起こるすべてのイベントや、サーバーおよび環境に関するその他の情報であるデバッグログが開きます。</p>
レポートログを表示	<p>クライアントのアクセス状況など、サーバーの統計情報であるレポートログが開きます。</p>
アクセス権の設定	<p>アクセス権の設定ダイアログボックスが開き、アクセス権限を設定することができます。</p>
ヘルプ	<p>英語版のヘルプシステムが開きます。</p>
終了	<p>簡易操作インターフェイスを終了します。</p> <p>終了すると、通知領域またはタスクトレイ（Windows）や、メニューバー（Mac）のアイコン表示が無くなります。</p> <p>* ライセンス管理ソフトウェアはユーザーが停止しない限り実行され続けます。</p>

6-3. クライアントが使用するモジュールの管理

簡易操作インターフェイスから Vectorworks クライアントの起動についての管理を行うことができます。

サーバー管理画面ではすべてのライセンス管理機能を操作できますが、クライアントのモジュール管理などは構文を入力して制御を行います。

簡易操作インターフェイスの「アクセス権の設定」メニューコマンドを実行すると、クライアントの起動管理に特化して簡単に制御することができます。

例えば、Aさんは造園計画まで行うので Design Suite の使用を予約しておいたり、Bさんは建物の設計がメインなので Architect の使用を許可したりと、ライセンス管理ソフトウェア側でクライアントが使用するモジュールを設定しておくことができます。

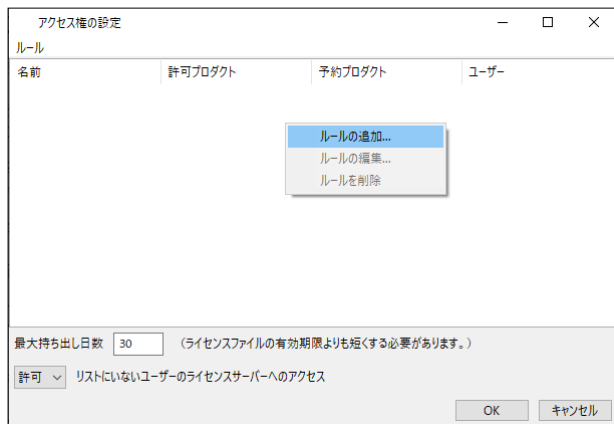
どのユーザーがどの製品の利用の許可や予約してあるかをまとめたものをルールと呼びます。

アクセス権限のルールを作成するには、以下の方法で行います：

1. Vectorworks Site Protection アイコンのメニューで「アクセス権の設定」を実行します。

アクセス権の設定ダイアログボックスが表示されます。

2. ダイアログボックス上で右クリック（Windows）または Ctrl - クリック（Mac）して表示されるコンテキストメニューから、「ルールの追加」を選択します。





クライアントの持ち出しを許可する場合、期間は**最大持ち出し日数**の設定で30 日以下に短縮して制限することができます。

ライセンスの持ち出しを禁止するには、日数を0（ゼロ）に設定してください。



リストにいないユーザーのライセンスサーバーへのアクセスの許可／拒否で、この後で説明するルールの基本動作を制御します。

デフォルトでは許可が選択されており、すべてのユーザーにライセンスへのアクセスが許可されています。ルールの作成時には、例外のルールを設定するようにします。

拒否を選択すると状況が逆になり、ルールでアクセスが付与されない限り、すべてのユーザーがライセンスへのアクセスを拒否されます。

ライセンス数や運用の状況に応じ、使い分けてください。

3. ルールの追加 / 編集ダイアログボックスが表示されます。

ルール追加/編集

ルール名

タイプ (ユーザーの定義方法を選択してください)

ユーザー

Vectorworksの最大インスタンス数 / ユーザー

許可プロダクト

☒ Fundamentals ☒ Design Suite ☒ Architect ☒ Landmark ☒ Spotlight

予約プロダクト

☐ Fundamentals ☐ Design Suite ☐ Architect ☐ Landmark ☐ Spotlight

ルールの追加 / 編集ダイアログボックスで以下を設定してルールを作成します：

項目名	説明
ルール名	ルールに名前を付けます。 ここに入力した名前が、アクセス権の設定ダイアログボックスのリストに表示されます。
タイプ	ルールのユーザーを定義する方法を、ユーザー名、コンピューター名、IP アドレスから選択します。 ユーザー名やコンピューター名はクライアント側で変更される可能性があるため、IP アドレスを推奨します。また、メンテナンスを含め管理をシンプルにするためには、クライアントのコンピューターは DHCP などのフローティングアドレスではなく、IP アドレスを固定しての運用をお勧めします。
ユーザー	サーバーの使用履歴で取得したユーザー名またはコンピューター名のリストを表示します。最後に使用したユーザーがリストの 1 行目に表示されます。 *IP アドレスはログから取得できないため、表示されません。 リストでユーザー名またはコンピューター名を選択するか、ユーザー名、コンピューター名、または IP アドレスを入力して追加をクリックし、リストに追加します。 * 名前にスペースは使用できません。
Vectorworks の最大インスタンス数	ユーザー 1 人につき実行できる Vectorworks のインスタンス数を設定します。 * 通常、この値は 1 です。
許可プロダクト	リスト内のユーザーに起動を許可するモジュールを指定します。 「すべて」または「なし」ボタンで一括で操作することができます。
予約プロダクト	リストのユーザーに対して、ライセンスのプールからモジュールを予約します。それら特定のユーザーのみが、予約されている製品ライセンスへのアクセスを付与されます。 このタイプのルールに複数のユーザーが含まれる場合は、予約されているライセンスを共有します。 「すべて」または「なし」ボタンで一括で操作することができます。

4. 設定を完了したら、OK ボタンをクリックして各ダイアログボックスを閉じてください。
5. ルールを編集 / 削除したい場合は、ステップ 2 のコンテキストメニューで行うことができます。



アクセス権の設定ダイアログボックスで設定した、**リストにいないユーザーのライセンスサーバーへのアクセスの許可／拒否**の設定に注意してルールを作成してください。

許可を選択すると、すべてのユーザーにライセンスへのアクセスが許可されます。例えば小規模の事務所で *Design Suite* を社員の人数分、アルバイトなどのヘルパー用に *Fundamentals* を数本導入した場合、ヘルパー用の端末は *Fundamentals* だけを許可するルールを作成すると、社員が使用する *Design Suite* のライセンスを保護することになります。

拒否を選択すると状況が逆になり、ルールでアクセスを付与しない限り、すべてのユーザーがライセンスへのアクセスを拒否されます。

この場合、管理者がすべてのライセンスの利用者を計画的に設定する必要があります。

ライセンス数によっては設定が大変ですが、ライセンスの利用状況をしっかり把握・管理したいケースに向いています。

ライセンス数や運用の状況に応じ、使い分けてください。

7. FAQ

ご質問の多い項目を Q&A 形式でご紹介します。お問い合わせいただく前にご確認ください。

ライセンス管理ソフトウェア

Q. エラーが表示されます。

- A. Vectorworks ヘルプまたはサーバーインストールデータ同梱のリファレンスガイド .pdf の「エラーメッセージ一覧」にエラー表示の情報が記載されています。問題の原因を確認し、対処法をお試しください。

Q. ライセンス管理ソフトウェアを遠隔管理できますか？

- A. インストールはローカル環境で行う必要がありますが、管理画面の表示や操作はサーバーと同一ネットワーク上の別のコンピューターからでも行うことができます。Web ブラウザのアドレスに、

http:// サーバー用コンピューターの IP アドレス : ポート番号
を入力すると、表示できます。

Q. ライセンス持ち出しの制限をカスタマイズできますか？

- A. ISV サーバーのオプションで設定可能です。持ち出し可能日をデフォルトの 30 日以下に抑えたい場合は「ROAM_MAX_DAYS」を、特定ユーザーにのみ持ち出しを許可したい場合は「INCLUDEALL_ROAM」を、特定ユーザーが持ち出せないようにさせたい場合は「EXCLUDEALL_ROAM」を設定する事ができます。例えば大多数のユーザーに持ち出させたくないケースでは「INCLUDEALL_ROAM」で制限するなど、用途にあわせて設定してください。詳しくは Vectorworks ヘルプまたはリファレンスガイド .pdf の「サーバーオプションを指定する」をご覧ください。

Q. ライセンス管理ソフトウェア (ISV サーバー) がライセンスファイルを読み込む時間を変更できますか？

- A. できません。深夜 0 時に再読み込みされます。

Q. 管理画面にパスワードを設定できますか？

- A. 設定することが可能です。Vectorworks ヘルプまたはサーバーインストールデータ同梱のリファレンスガイド .pdf の「サーバーのパスワードを設定する」をご覧ください。

■アクティベーションタイプ関連

Q. ライセンス管理ソフトウェアのアクティベーションのための通信には何番のポートを使用していますか？

A. 動作のためには発信ポート 80 および 443（TCP）が解放されている必要があります。

Q. ライセンス管理ソフトウェアは1度アクティベートすれば使い続けられますか？

A. いいえ。動作のために、アクティベーションを毎日1回、自動的に行います。
ライセンス管理ソフトウェアは深夜に自動的にライセンスを更新します。ライセンスの再アクティベーションまたは最新のライセンスファイルの取得が行われます。

Q. サーバー PC のリプレイス（入れ替え）時に注意点はありますか？

A. まず、古いサーバー PC から、ライセンス管理ソフトウェアをアンインストールしてください。
アンインストール時にアクティベーションライセンスを忘れずに解除してください。
詳しくは [40 ページの「5-4. ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点」](#) をご参照ください。

■ dongle タイプ関連（初回購入を dongle タイプで購入された場合）

Q. ライセンス管理ソフトウェアの dongle プロテクトで使用している dongle の種類は？

A. シングルライセンスの Sentinel HASP HL USB dongle（HASP HL）を使用します。

Vectorworks ソフトウェア

Q. 「インストールに失敗しました」と表示されます。

- A. OS のユーザーアカウント名が 2 バイト文字（日本語）となっている場合に発生することがあります。1 バイト文字（半角英数）のアカウントを新規作成し、そのアカウントでログインし直した状態でインストールをお試しください。

Q. インストールが止まる／インストーラーが強制終了する。

- A. 1. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが、インストールやアップデートを阻害することがあります。
2. コンピューターに管理者権限でログインした状態で、インストールをお試しください。また、フォルダやアプリケーションのアクセス権をご確認ください。アクセス権については、本ガイド内の [37 ページの「5-1. Vectorworks フォルダのアクセス権について」](#) をご参照ください。

Q. 追加モジュール（Architect, Landmark, Spotlight, Design Suite モジュール）を追加購入したが使用できません。

- A. 1a. ライセンスファイルの更新をお試しください。（アクティベーションタイプ）
詳しくは [「ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時の注意点」](#) をご参照ください。
- 1b. ライセンス管理ソフトウェア側で追加モジュールが利用可能なライセンスファイルを使用してください。（ドングルタイプ）
2. クライアント側のモジュール設定を確認してください。

Q. Vectorworks を起動できない／Vectorworks の動作が不安定（頻繁に強制終了する／極端に動作が遅い）

- A. 1. ご利用のコンピューターが Vectorworks が必要とする動作環境を満たしているかご確認ください。
2. セキュリティソフトウェアなどの常駐プログラムを停止させた状態でお試しください。ウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトウェアが動作を阻害することがあります。
3. [37 ページの「5-1. Vectorworks フォルダのアクセス権について」](#) をご参照ください。
4. Windows: グラフィックスドライバを更新してください。

Q. Vectorworks をアンインストールしたい。

- A. [35 ページの「4. アンインストールについて」](#) をご参照ください。
-

Q. クライアントのシリアル番号を確認すると、ライセンス製品に「Design Suite/Renderworks」と表示されています。

A. Vectorworks はインストール時に、Vectorworks Design Suite 製品の全機能をインストールしています。また、ネットワーク版のクライアントは起動時にモジュールを選択可能であるという製品の性質上、Vectorworks Design Suite のライセンスを使用して動作しています。

このため、Vectorworks クライアントで（「環境設定」>「その他」タブ>「シリアル」ボタンをクリックして）シリアル番号を確認すると、ライセンス製品には Design Suite と Renderworks が表示されます。

ただし、実際使用できる製品はライセンスをお持ちのものだけです。

Q. クライアントの Vectorworks でライセンスの持ち出し機能が利用できません。

A. ライセンス管理ソフトウェア側の ISV オプションで制限をかけている可能性があります。まず、ISV オプションの設定をご確認ください。

Q. 持ち出したライセンスを、サーバー用コンピューター側から強制的に返却させることはできますか？

A. 持ち出したライセンスは、サーバー用コンピューター（ライセンス管理ソフトウェア）から強制的に返却させることはできません。

何らかの理由によりライセンスを返却できない場合、持ち出し期限が超過することで自動的に返却されます。

Q. クライアントの Vectorworks が接続中のサーバーについての情報が知りたい。

A. Vectorworks クライアントで「環境設定」>「その他」タブ>「ログイン設定」ボタンをクリックして表示されるログイン設定ダイアログボックス内の「接続」ボタンをクリックすると、接続中のサーバーの IP アドレスが表示されます。

Q. 複数のサーバーが動作している環境で、接続するサーバーを指定できますか？

A. Vectorworks クライアント起動時に表示されるログイン設定ダイアログボックス内の「サーバー設定」ボタンをクリックすると表示される、サーバー設定ダイアログボックスで、接続先の登録や優先度の調整が可能です。

Q. 「お使いのライセンスサーバーは、このバージョンの Vectorworks をサポートしていません。」と表示される

A. ライセンス管理ソフトウェアのバージョンが古い可能性があります。最新のものを再インストールしてお試しください。

8. 付録

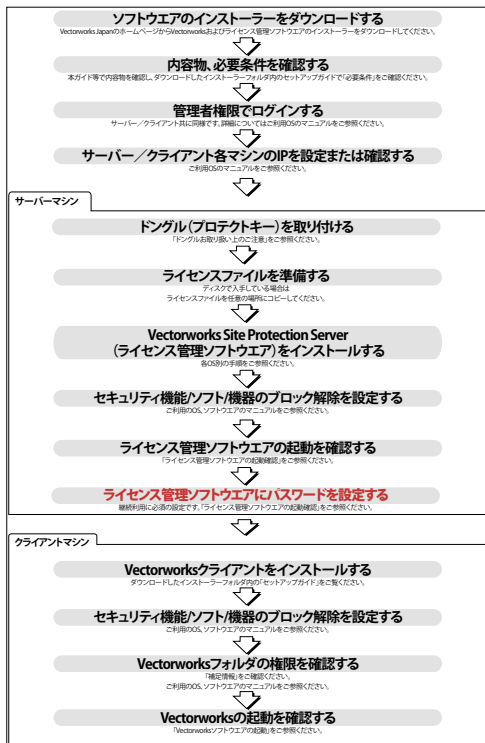
8-1. ドングルタイプのプロテクトについて

旧バージョンからご利用いただいているお客様の中で、ドングルタイプのプロテクトをご利用のかた向けに、ドングルプロテクト関連の情報をまとめて記載します。

8-1-1. セットアップから起動までの流れ

前提として、プロテクトタイプによるライセンス管理ソフトウェアの機能の差異はございません。

セットアップについても、インストール時にアクティベーションキーを入力する代わりにドングル装着後にセットアップを実施する事でライセンス管理ソフトウェアが起動します。



8-1-2. サーバー用パソコンの必要スペックの差異について

dongleタイプの製品ではUSB dongleによる起動確保を行うため、通常の製品のサーバー機のスペックに加えて以下の環境が必要です。

- dongle用 USB ポート
- CD または DVD ドライブ（ディスクにて配布されたライセンスファイルを使用時）

8-1-3. パッケージの内包物の差異について

dongleタイプの製品パッケージと通常製品との差異は以下の通りです。

- 製品購入書（Vectorworks クライアントのシリアル番号（キー情報無し））
- ライセンスファイル CD-ROM
- * **USB dongleの納品はございません。**
現在ご利用いただいておりますdongleを継続利用します。

8-1-4. セットアップ時の差異について

dongleタイプの製品セットアップと通常製品との差異は以下の通りです。

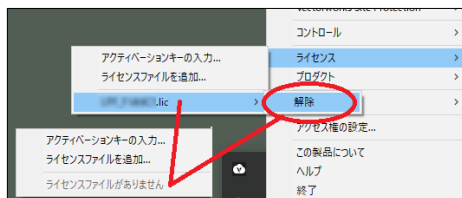
dongleタイプの製品をバージョンアップもしくはライセンス追加などの再セットアップをする場合は、**セットアップ前に** dongle装着を実施してください。その際には取り付け口の形状などをよく確かめて、丁寧にお取り扱いください。

1. dongleが装着されていることを確認してください。
2. ライセンスファイル（.lic ファイル）の場所を確認します。ディスクで入手している場合は、ファイルを任意の場所にコピーしてください。
* **ファイル名は、LPF_ dongle ID の下 6 桁 + 拡張子（.lic）です。**
3. セットアップの手順に従いセットアップを進めます。
ダイアログボックスがライセンス管理ソフトウェアのライセンスタイプを設定する画面に切り替わります。
「ライセンスファイル」を選択し、ボックス右側のボタンをクリックして、任意の場所にコピーしておいたライセンスファイルを選択してください。
この後はセットアップの手順に従って導入を進めてください。
4. インストール作業が終了したらdongleのランプが赤く点灯していることを確認してください。
* **クライアントの Vectorworks を終了してから実施してください。**
* **Vectorworks Site Protection アイコン（簡易インターフェイス）や管理画面でプロダクトやカウントの項目が表示されない場合、dongleに対応したライセンスファイルを使用していない可能性があります、ライセンスファイルをご確認ください。**

8-1-5. ドングルタイプのライセンス入れ替え手順

ライセンス・モジュール追加およびバージョンアップ時のドングルタイプの製品のライセンス入れ替え手順は以下の通りです。

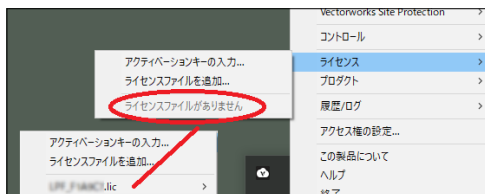
- * クライアントの **Vectorworks** を終了してから実施してください。
 - * ライセンスを持ち出したままライセンスファイルの更新を行うとライセンスを返却できなくなります。必ず返却してください。
 - * ライセンスの持ち出し状況は、サーバープログラム上で確認できません（「License Pool Status（ライセンスプールのステータス）」）。
 - * **Vectorworks 2025** をご利用いただくには、最新の **Vectorworks Site Protection Server**（ライセンス管理ソフトウェア）が必須です。古いバージョンの **Vectorworks Site Protection Server** をご利用の場合は、再インストールを行なってください。
1. 通知領域またはタスクトレイ（Windows）またはメニューバー（Mac）に表示される **Vectorworks Site Protection** アイコンのメニューのライセンスから、使用中のライセンスファイルの「解除」を実行してください。



ライセンスファイルが削除され、「ライセンスファイルがありません」と表示されるようになります。

2. 新たなライセンスファイルを指定します。
Vectorworks Site Protection アイコンのメニューのライセンスから、「ライセンスファイルを追加」を実行してください。

- 3 ファイル選択ダイアログボックスが開きます。
 新たなライセンスファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



ライセンスファイルが追加され、追加した新たなライセンスファイルが表示されるようになります。

- * バージョンアップなどの際は、現在使用中の dongle を継続してご利用ください。

8-2. ドングル（ハードウェアプロテクトキー）お取り扱い上のご注意

初回購入を dongle タイプで購入された場合、以下の点にご注意ください。

8-2-1. 他メーカー製の dongle との混在

他のメーカーの dongle に関しても定期的に試験を行ない、他メーカーの dongle との混在環境でも問題なく動作することを確認しています。ただし、安定した動作のために、弊社製品の dongle を優先順位の高い USB ポートに接続してください。USB ポートの優先順位は機種によって異なります。ご使用のコンピュータのマニュアルを参照してください。

8-2-2. USB ポート接続 dongle について

USB ポートに接続すると、正常な場合は dongle の LED（dongle 本体のランプ）が点灯します。お使いの機種や環境によっては、USB ポート自体が利用できないよう設定されている場合がありますので注意してください。その場合は LED が点灯しません。

8-3. セットアップ状況確認のヒント

セットアップ後のライセンス管理ソフトウェアや Vectorworks クライアントの起動に支障がある場合は、FAQ の確認に併せて以下のリストを確認してみましょう。

チェック	内容
	サーバーのライセンス管理ソフトウェアは起動しているか。 確認方法： 22 ページの「2-3. ライセンス管理ソフトウェアの起動確認」 問題があればサーバー側の各種項目を確認。
	サーバー管理ログインアカウントの設定を行ったかを確認。
	ライセンス管理ソフトウェアの起動確認のステップで、必要な製品やライセンス数が表示されているか。
	サーバー用コンピューターに装着した dongle のランプは点灯しているか。 また、サーバー用コンピューターを再起動するとどうか。(dongle タイプ)
	ライセンスファイルと実際の dongle ID は合っているか。(dongle タイプ)
	RLM デバッグログでコンピューター名、各ポート番号が合っているか。

①

管理画面から
Statusを表示

RLM software version	v14.1 (build:3)
RLM comm version	v1.2
debug log file	_stdout_
license files	

②

「rlm Debug Log」をクリック
デバッグログを表示する。

EDIT rlm Options

SHOW rlm Debug Log

Recent Debug Log Entries

RLM Debug Log, last 20 lines

10/28 17:15 (rlm)
10/28 17:15 (rlm) WARNING: No license file for this host (C99354.local)
10/28 17:15 (rlm) The hostname in the license file(s)
10/28 17:15 (rlm) may be incorrect
10/28 17:15 (rlm)
10/28 17:15 (rlm) License files:
10/28 17:15 (rlm)
10/28 17:15 (rlm) RLM License Server Version 11.3BL1
Copyright (C) 2006-2015, Reprise Software, Inc. All rights reserved.
10/28 17:15 (rlm) License server started on C99354.local
10/28 17:15 (rlm) Server architecture: x86_mrx
10/28 17:15 (rlm) License files:
10/28 17:15 (rlm)
10/28 17:15 (rlm) Web server starting on port 5054
10/28 17:15 (rlm) Using TCP/IP port 5053
10/28 17:15 (rlm) ... adding UDP/IP port 5053
10/28 17:15 (rlm) (No ISV servers to start)

マシン名

ポート番号

セキュリティソフトや OS 標準のファイアウォールの設定に問題はないか。

チェック	内容
	Vectorworks クライアントの起動時に、ログイン設定ダイアログボックスで入力したサーバー用コンピューターの IP アドレスに間違いがないか。
	他の Vectorworks クライアントが起動していない時に、クライアント用コンピューターの Vectorworks 起動時に購入した製品のモジュールが選択できるか。

8-4. 技術情報関連

Vectorworks ソフトウェアを快適にご使用いただくための情報や、出荷時点での既知の障害、仕様上の制限事項をご案内いたします。

最新の情報は、弊社 Web サイトにて、随時ご案内しています。

Vectorworks Japan Web サイト：

<http://www.vectorworks.co.jp//Support/faq.html>

禁転載 / 不許複製

Vectorworks 2025 ネットワーク版 セットアップマニュアル
2025年7月28日 改訂

製作・発行
ベクターワークスジャパン株式会社